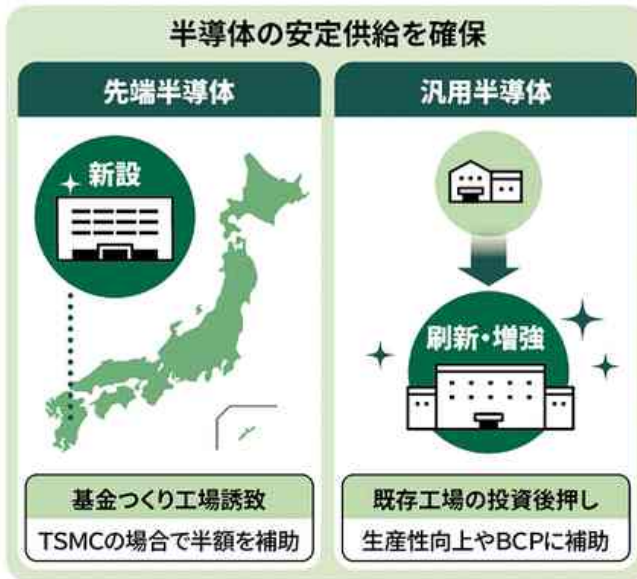


半導体、安定供給に補助



経済安全保障政策の強化は日本の成長力底上げに欠かせぬピースだ。特に半導体の安定供給に向けた施策に重点を置く。

製造基盤の整備は足元の動きに呼応する。台湾積体電路製造（TSMC）は熊本県に先端半導体の生産拠点を設ける計画だ。基金を通じた工場誘致のための補助金（TSMCの場合で半額補助）を準備した。

汎用的な半導体を生産する既存工場の支援策は、改修への補助金新設が柱だ。生産性向上につながる製造装置やシステム導入の費用を公的に補助する。

製品の歩留まり（良品率）を上げ効率を高める狙いがある。防火や事業継続計画（BCP）の観点からも対策費用の一部を支援する。災害による生産停止のリスクを抑えるためだ。

車載用を中心とした先端電池工場の建設を支援する補助金もつくる。蓄電池は脱炭素やデジタル化で重要性が増す。国内に製造拠点を確保し、安定した調達・供給網の構築を目指す。対策にはこのほか、電気自動車（EV）などの充電設備や燃料電池車（FCV）の水素ステーションの導入促進策も盛り込んだ。